

辺野古に新しい基地をつくるな

普天間基地は閉鎖し、撤去せよ

安倍内閣は沖縄の総意を踏みにじて、あくまで辺野古に新しい米軍基地をつくらうとしています。

日米両政府がつくらうとしている新基地は、V字型飛行場をはじめ、普天間基地にはない214メートルの埠頭や弾薬搭載など、巨大な総合基地です。それを日本国民の税金を使ってつくらうというのです。

日米両政府は、「普天間基地の移設」といいながら、普天間基地は2022年までは返還しないとしています。

基地の「移設」では問題は解決しません。普天間基地をただちに閉鎖し、撤去することこそ求められています。

普天間基地のオスプレイ



これが、珊瑚の海を埋め立てつくられるV字滑走路。

オスプレイ配備撤回を

普天間基地に配備されたオスプレイは、沖縄県内の市街地や学校上空でモード変換や、低空飛行、夜間飛行訓練など「運用ルール」違反の危険な飛行を繰り返しおこない、県民の命と生活を脅かしています。

3月からは本土での訓練を始めており、今後、7ルートなどを使って全国で低空飛行訓練をおこなおうとしています。今年夏以降には、さらに12機のオスプレイを追加配備しようとしています。

「米軍輸送機オスプレイの配備撤回・低空飛行訓練中止」を求める署名にご協力をお願いします。

「従軍慰安婦は必要」の発言に抗議

日本維新の会の橋下徹共同代表（大阪市長）は、アジア・太平洋戦争時の旧日本軍の従軍慰安婦について「必要だった」と発言し、国内はもとより、海外でも大問題になっています。

橋本氏はまた、沖縄で米軍司令官に対して「もっと風俗業を活用してほしい」と、事実上、買春を推奨する発言をおこなっています。

こうした発言は、安倍首相の歴史認識を踏襲

したものであり、同時に過去の侵略戦争を「アジア解放の戦争」と美化するものです。このような発言は、個人としても認められませんが、政党の代表であり、市長という公職にあるものとしては断じて許されないものです。

わたしたちは、強く抗議し、市長辞任を求めます。

安保破棄中央実行委員会 Eメール anpohaiki@nifty.com
TEL 03-3264-4764 FAX 03-3264-4765

2013年
5月